

平成28年度 地方創生加速化交付金に係る事業実施結果 長野県上田市

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 (事業費× 10/10) 単位：円	④ 事業概要	⑤ 本事業における重要業績評価指標（KPI）					⑥ 本事業終了後における実績値		⑦ 外部有識者からの評価			
					指標		指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見		
1	恋するNAGANO WINE振興事業 (広域連携事業) ※長野県、塩尻市、小諸市、東御市、千曲市、長和町、青木村、立科町、坂城町	加速化	事業費 (3,729,000) うち交付金 3,729,000	ワイン川ぶどう栽培の好適地と言われる信州千曲川沿いの特徴を生かして、ワインによる地域ブランドを創出するため、千曲川ワインバレー特区連絡協議会と連携し、地域のワイン産業をPRするとともに、上田市の独自品種として「ヤマブドウ系ワイン川ぶどう」の栽培研究や、苗木及び資材購入補助等による新規就農者拡大に向けた取組を推進。	指標①	オリジナル品種確立に向けた試験栽培圃場	1	件	1129.3	1	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	ワインによる地域活性化は各地で行われており、他地域の成功例や失敗例を参考にして世界に通用するワイナリー設立を目指してもらいたい。ワイナリーを結ぶ広域周遊バスの実証運行は、効果を検証し、しなの鉄道とバスとの連携も視野に入れた取組が必要と考える。協議会事業と市単独事業の位置づけを明確にし、進捗を評価できる「栽培面積の増加」等の指標設定が必要と考える。		
					指標②	6次産業化計画の認定事業者	4	人	1129.3	3					
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
2	松本・上田を圏域とした新たな広域観光誘客連携事業 (広域連携事業) ※松本市	加速化	事業費 (4,878,620) うち交付金 4,878,620	上田・松本両市が広域的に連携し、それぞれの魅力や優位性を組み合わせて観光振興に取り組むことで相乗効果を発揮し、新たな観光需要を掘り起こすことを目的に、両市をつなぐ二次交通として、上田・松本間直行定期観光バスの運行。	指標①	市内主要観光地の延利用人数	4,825	千人	1129.3	7,000	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	上田・松本間のバス輸送人員数が目標を達成したことは素晴らしい。昨年度は良田丸効果も多分にあったと思われる。本年は、昨年同期比の90%の状況で若干落ちているものの、上田城跡公園の来園者の状況を見ても上田の知名度は上がっていると感じている。今年もPRに力を入れて利用者確保に努めてほしい。		
					指標②	上田・松本間輸送人員	1,900	人	1129.3	2,230					
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
3	「忍者」のマーケティング・セールス推進事業 (広域連携事業) ※神奈川県、小田原市、長野県、三重県、伊賀市、滋賀県、甲賀市、佐賀県、嬉野市	加速化	事業費 (5,000,000) うち交付金 5,000,000	「忍者」ゆかりの自治体をはじめ、民間事業者等と連携した全国的なネットワークの下、「忍者」を観光資源として国内外からの観光誘客を図るため、日本忍者協議会を核とした関係自治体の連携によるオールジャパン体制で大規模なマーケティング調査、広域周遊ルートの旅行商品化、通販サイトの開設、コラボレーション商品開発促進を実施。	指標①	外国人宿泊者数	9,000	人	1129.3	8,227	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	忍者はインバウンド呼び込みの強力なコンテンツに成り得る可能性が有り、忍者ゆかりの自治体で連携し効率的にPRを進めることを目的に協議会が結成されている。具体的には、ロゴマークの掲載や海外の旅行会社を招き忍者観光のPRを実施している。ガーデンプレイスとも連携するとともに市内の標識や案内体制、周遊ルートの造成も検討してほしい。		
					指標②										
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
4	DMO設立に向けたピーナスラインを基軸とした広域観光事業 (広域連携事業) ※茅野市、岡谷市、諏訪市、立科町、長和町、下諏訪町	加速化	事業費 (1,315,000) うち交付金 1,315,000	ピーナスライン沿線の自治体、団体が連携し、“雲上ドライブ”というピーナスラインならではの魅力を発信し、地域ブランドを確立することで交流人口の拡大を図り、広域的な観光及び産業を創出する。	指標①	沿線観光地延べ利用人数	9,000	千人	1129.3	8,926	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	小諸など各地でDMOが立ち上がる中、広域でDMO化することは良いことだと思う。同事業で作成された映像等を関係団体などのPRに活用してほしい。		
					指標②	沿線観光消費額	29,410	百万円	1129.3	27,259					
					指標③	研修、セミナー参加者数	30	人	1129.3	260					
					指標④	お初めドライブルート造成	1	件	1129.3	5					
					指標⑤										
5	多様な働き方普及促進事業 (広域連携事業) ※長野県	加速化	事業費 (9,000,000) うち交付金 9,000,000	コワーキングスペース（ハナラボ・ウンノ）を使い、スキルアップの運営支援、提携企業との調整、受注業務の品質確認などから地域産業の担い手として子育て期の女性の社会進出を促進する。	指標①	女性登録者数	29	人	1129.3	42	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	スキルアップ研修の対象者を子育て中の母親限定としているが、子育て中でなくとも手に職をつけたいと思っている女性がいるので学生等にも対象を拡大することを検討してもらいたい。		
					指標②										
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
6	スポーツツーリズムのメッカ「菅平プラント」を核とした「健康都市上田」の確立による地域活性化と交流促進事業 (単独)	加速化	事業費 (52,149,000) うち交付金 52,149,000	常勤雇用の創出を拡大させるため、スポーツ合宿の実績と経験を活かした菅平高原ならではの健康改善・促進メニューの提供により定期的なりびート来訪を促進する「SPTプログラム」を構築。同プログラムを核として春・秋の誘客を促進することで、通年型のスポーツ観光地としての醸成を図る。	指標①	SPTプログラム利用人数	1,000	人	1129.3	1,017	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	SPTプログラムのターゲットとして、高齢者等の市民向けや少年サッカー等スポーツチームとの年間契約も考えられるのではないかと。志賀高原でも繁忙期と閑散期の雇用差が課題であったこともあり、常勤雇用創出の好事例となってもらいたい。		
					指標②										
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
地方創生加速化交付金合計額			76,071,620	事業費(76,071,620円)											